

図書館の魅力

『配本/ふれあいライブラリー事業』

子どもから大人まで幅広く過ごしていただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。今回は市立公民館の図書室・図書コーナーと図書消毒機について紹介します。

市立公民館の図書室・図書コーナー

市立公民館・ふれあいセンターに図書館の本を置いて地域の皆さんに貸し出しをしています。読みたい本がないときは、リクエストや予約ができます。



▲牧田公民館図書コーナー

- 貸出期間 2週間
- 貸出冊数 1度に5冊まで
- 申込み 公民館窓口にて
※公民館で借りた本は、公民館へ返却してください。

図書館職員が定期的に公民館を巡回し、本の入れ替えや地域の皆さんの要望などをお聴きしています。巡回の日程は広報すずか20日号「配本/ふれあいライブラリー」でお知らせしています。

図書館の図書消毒機を活用ください

昨年11月に、市立図書館と江島分館に、図書消毒機を設置しました。どうぞご利用ください。

使い方

- ①本を入れ、セットする
(1度に6冊まで)。



- ②スイッチを押す。



効果

- ①紫外線照射による殺菌処理
- ②送風によるごみやほこりなどの除去
- ③消臭剤によるたばこなどの匂いの除去

- ③約30秒後、消毒完了



清潔で安心して図書を利用できますので、皆さんご活用ください。



「モータースポーツお宝探検隊」出動!

市役所本館1階市民ロビーに設置された「モータースポーツ振興コーナー」。鈴鹿モータースポーツ友の会では、このスペースを活用してモータースポーツの魅力を市民の皆さんにお伝えしています。

今年2月から3月にかけて開催したのが「市民でつくるモータースポーツ『お宝』博覧会」。モータースポーツのまちに住む市民の皆さんだからこそ持っている、知っている、モータースポーツにちなんだ『お宝』を募集し、展示しました。予想以上に出品応募があったため、急きょ展示期間を三期に分けて拡大開催するなど、大きな反響がありました。

さらには、これから2年間にわたり、展示だけでなく、出品者の『お宝』への熱い想いを本欄でも紹介していく予定です。名付けて「モータースポーツお宝探検隊」。皆さんお楽しみに。

来年(2022年)は、鈴鹿市制80周年と鈴鹿サーキット開場60周年の節目に当たります。この機会にモータースポーツが紡いだ歴史の一端に触れてみてください。



▲「市民でつくるモータースポーツ『お宝』博覧会」第二期展示の様子

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード



東日本大震災から10年が経ちました。私自身、当時は広報の担当でしたが、震災発生直後の3月27日、甚大な被害を受けた宮城県石巻市で、早くも災害臨時号として広報紙の発行が再開されたと耳にし、その情熱と気概に感銘を受け、力をいただいたことを思い出します。情報網が寸断される中で、広報紙が伝える「言葉」の持つ力、気持ちに寄り添ったメッセージは、被災者の方々にとっても、きっと大きく勇気づけられる存在であったと思います。

ここ10年、自治体の情報発信手段には大きな変化がありました。本市でもツイッターやフェイスブックが加わるなど、その内容は多様化しています。現在、こうした中での効果的な情報発信手段のあり方について検討を進めていますが、どれだけ時代が変わり、手段が多様化しても、一つ一つの「言葉」が宿すメッセージを、これからも丁寧にお伝えしたいと思います。(正)